

教育委員会 1 月定例会会議録

1 日 時 令和 7 年 1 月 9 日 (金) 午後 1 時 30 分開会

2 場 所 三島市役所中央町別館 4 階 第 1 会議室

3 出席者

(委 員) 小塚教育長、竹林委員、草間委員、飯島委員、望月委員
(事務局) 鈴木教育推進部長、畠教育総務課長、中村学校教育課長、
沼上生涯学習課長、渡邊図書館長、及川文化財課長、
(書 記) 諏訪部教育総務課長補佐、風間教育総務課主事

4 傍聴人の人数 0 人

5 会議次第

- (1) 開会
- (2) 前回会議録の承認
- (3) 会議録署名人の決定
- (4) 各課の事業報告 (経過・予定の報告)
- (5) 教育長の報告
- (6) 教育推進部長の報告
- (7) 報第 1 号令和 6 年度三島市教育奨励賞について
- (8) 報第 2 号三島市文化財保存活用地域計画の文化庁長官の認定について
- (9) 議第 1 号三島市立小・中学校処務規程の一部を改正する訓令の制定について
- (10) その他
- (11) 閉会

6 議 事 (要旨)

- (1) 開会 小塚教育長が宣言した。
- (2) 前回会議録の承認 前回会議録を承認した。
- (3) 会議録署名人の決定 小塚教育長が竹林委員と草間委員を指名した。
- (4) 各課の事業報告 (経過・予定の報告)
各課長が経過報告書及び予定報告書により報告を行った。

(5) 教育長の報告

- 静岡県では、穏やかに令和7年を迎えることができ、コロナ禍があけて、多くの人出でにぎわったようである。一方、東北地方では大雪に見舞われ、青森県では豪雪対策本部を立ち上げたことが報道された。屋根や車の雪下ろし、家からの動線を確保するために雪かき作業に追われている姿、道幅が狭くなって通行に支障をきたしている自動車の姿、通学や通勤もままならない様子が映像から伝わってきた。まさしく豪雪による災害である。寒い中、豪雪の対応に追われている皆様には、心からお見舞い申し上げます。三島市は、雪の心配は少ないものの、地震、水害については、いつ被災地になってもおかしくないということを忘れてはならない。
- 今年の干支の巳は、古来から神の使いとして信仰される生き物と言われており、福岡県志賀島で発見された日本で最も小さな国宝である「漢委奴国王」と彫られた金印の取手の部分は、とぐろを巻いた蛇がデザインされている。世界で、「スターオブライフ」と呼ばれるマークに蛇が採用されており、わが国でもいろいろなところで目にしている。蛇は、成長のために脱皮を繰り返すことから、復活、成長の象徴とされていることが所以だそうである。三島の子どもたちが健やかに成長できるよう教育に携わる皆様方と力を合わせて取り組む一年にしたい。
- 6日に冬季休業が明け、学校が再開したが、これから寒さも本番を迎える。静岡県では、インフルエンザが警報レベルに達したと報じている。「人が集まる場所では手洗い、換気、咳エチケット」と県のホームページにもあるように、各学校でも予防策を講じるよう校長会議でもお伝えした。「一月往ぬる、二月逃げる、三月去る」という言葉にあるように、あっという間に過ぎてしまう3か月になるが、今年度の成果と課題を整理し、次年度の計画や準備を進めていく。

(6) 教育推進部長の報告

ア 関連事業等の報告について

(ア) 12月の入札状況について説明した。

- ◎三島市立坂小学校給食室エアコン更新修繕
- ◎三島市立山田中学校、徳倉小学校及び中郷小学校体育館屋上防水改修修繕
- ◎三島市立中郷小学校特別支援学級エアコン更新修繕
- ◎三島市立中郷中学校及び西小学校給水加圧ポンプ更新修繕
- ◎三島市立徳倉小学校防火戸改修修繕

イ 関連事業等の予定について

(ア) 令和7年三島市二十歳を祝う式典について

日 時 1月12日(日) 午前11時～

会 場 三島文化会館大ホール

内 容 20歳の若者で構成する「三島市二十歳を祝う式典実行委員会」が、記念品(オリジナルデザインキーホルダー)を選定。また、式典後半の企画運営も行う。

対象者 平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者

男518人 女444人 計962人(令和6年11月30日現在)

(参考) 令和6年対象者1,020人、出席者839人(出席率82.3%)

(イ) 講演会「山中城跡の50年～発掘調査・史跡整備・災害復旧～」

日 時 1月13日(月・祝)午後1時30分～午後3時40分
会 場 三島市民生涯学習センター ギャラリー
講 師 望月保宏氏(静岡古城研究会会長、三島市教育委員)
対 談 望月保宏氏、齋藤宏氏(元山中城跡発掘調査団長)

(ウ) 令和6年度「遺伝学講座・みしま」

日 時 1月18日(土)午後1時～午後4時
会 場 三島市民文化会館 小ホール
演 題 「目は脳に何を伝えるかーネズミを使って解き明かす視覚のしくみー」
講 師 米原圭祐氏(国立遺伝学研究所多階層感覚構造研究室教授)
演 題 「熱帯魚と挑む、難病ALSの解明」
講 師 浅川和秀氏(国立遺伝学研究所 神経システム病態研究室 准教授)

ウ その他

(ア) 三島市文化財保存活用地域計画について

令和6年12月20日に文化庁長官の認定を受けた。

計画期間 令和7年度～12年度(6年間)

将来像 薫り高い文化がいきづくまち・みしま

方向性・主な事業

(1)文化財を知り、学ぶ

- ・市内遺跡発掘調査事業
- ・向山16号墳発掘調査事業
- ・伝統行事、民俗芸能等調査事業

(2)文化財を守り、次世代へつなげる

- ・遺跡(史跡)の保存管理
- ・史跡山中城跡災害復旧事業
- ・郷土資料館での所蔵資料の保存管理
- ・文化財の災害対策に関する啓発事業

(3)文化財を人づくり、まちづくりに活かす

- ・郷土資料館企画展示事業
- ・文化財講座の実施
- ・歴史的風致維持向上計画推進事業
- ・箱根八里街道観光推進協議会事業

(4) 様々な人が文化財に関わる仕組みをつくる

- ・ 個別文化財の保存活用計画作成事業
- ・ 関係機関、民間団体等との連携
- ・ 文化財関係団体向け研修会事業

(7) 報第1号令和6年度三島市教育奨励賞について

中村学校教育課長から説明があった。

(竹林委員)

今年度の教育奨励賞の応募者数が非常に少ない印象を受けるが、理由はあるのか。

(中村学校教育課長)

理由については不明であるが、例年どおり年度当初の校長会議を通じて、学校に周知を行った。応募件数は例年10件前後だが、今年度は4件の結果となった。今後、周知の方法等を含め、教育奨励賞の運営について、研究をしていきたい。

※報告承認

(8) 報第2号三島市文化財保存活用地域計画の文化庁長官の認定について

及川文化財課長から説明があった。

※報告承認

(9) 議第1号三島市立小・中学校処務規程の一部を改正する訓令の制定について

中村学校教育課長から説明があった。

※原案承認

(10) その他

次回日程について

(諏訪部教育総務課長補佐)

次回の2月定例会は、1月30日(木)の午後1時30分から中央町別館第1会議室にて開催予定。

(11) 閉会 午後2時

上記のとおり会議録を承認する。

令和7年1月30日

署名人 竹林重行

署名人 草間路代